



花瓶 ノリタケミュージアム蔵

ノリタケの森クラフトセンターは陶磁器メーカーであるノリタケが2004年の創業100周年を記念してオープンした産業観光施設です。陶磁器の製造工程や初期のノリタケ製品を見たり、画付け体験ができます。この作品は1911年に製造された花瓶です。画付技法は上絵顔料、手描き、下盛り、金彩、吹きぼかしとなり華麗で曲線が美しい名品です。

目次

●愛知県博物館協会平成14年度総会の報告について	2
●平成14年度東海地区博物館連絡協議会 日本博物館協会東海支部総会の報告について	4
●新規加盟館の紹介	5

愛知県博物館協会 平成14年度総会の報告

愛知県博物館協会の平成14年度総会が6月20日(木)、名古屋市東区の「愛知県美術館」で、参加56館76名の出席のもと盛大に開催されました。概要は以下の通りです。

1. 開 会
2. 会長あいさつ
愛知県美術館 館長 長谷川 三郎氏
3. 新加盟館紹介あいさつ
・ノリタケの森クラフトセンター
・ウールの工房博物館テキスタイル館

4. 議 事

議長 長谷川 三郎氏(会長)

①平成13年度事業報告及び決算報告について

1 研修会の実施

(1) 愛知県博物館等職員研修会

期 日 平成13年11月29・30日
会 場 稲沢市勤労福祉会館
テーマ 「美術館・博物館における“連携”」
参加者 51名

(2) 部門別研修会

ア 自然科学部門

期 日 平成14年2月6日
会 場 南設楽郡鳳来町
テーマ 「中央構造線沿いの岩石露頭
の見学と資料採集」

参加者 12名

イ 歴史民俗部門

期 日 平成14年2月15日
会 場 武豊町中央公民館
テーマ 「地域・住民と博物館、資料館」
参加者 16名

ウ 美術部門

期 日 平成14年2月14・15日
会 場 愛知県美術館
テーマ 「鑄造彫刻作品の収蔵・展示
と鑄造管理の在り方について」

参加者 20名

2 東海地区博物館連絡協議会

平成13年度総会への参加

期 日 平成13年6月7・8日
会 場 高山市 高山市民文化会館
参加者 87名(内県内14名)

3 第26回東海三県博物館協会

交流研修会への参加

期 日 平成13年8月2・3日
会 場 伊勢市 伊勢シテイホテル
テーマ 「博物館と学校～総合的な
学習の時間の事例から」
参加者 103名(内県内21名)

4 「いこまい!! 愛知のミュージアム展」 の開催

期 日 平成13年7月14日～9月2日
会 場 名古屋市博物館

5 印刷物の作成・配布

- | | |
|-----------------|-------|
| (1) 協会報「愛知の博物館」 | 2 回発行 |
| (2) 「おでかけガイド」 | 2 回発行 |

6 会議等

- | | |
|-----------------|-------|
| (1) 総 会 | 1 回開催 |
| (2) 理 事 会 | 2 回開催 |
| (3) 「愛博協ホームページ」 | |

説明会・平成13年9月27日開催

- | | |
|-----------|-------|
| (4) 実行委員会 | 9 回開催 |
|-----------|-------|

7 平成13年度加盟等

入 会 2館 サイクル・ギャラリー・ヤガミ
鍛造技術の館
退 会 1館 蒲郡ファンタジー館
(株)蒲郡フラワーパーク

8 平成13年度決算報告

資料に基づき事務局より説明、異議なく承認されました。

②平成14年度事業計画(案)及び

予算(案)について

1 事 業

(1) 愛知県博物館等職員研修会

愛知県教育委員会と共催で博物館
関係施設等に勤務する職員を対象
とする。

期 日 未定
会 場 名古屋市
名古屋市博物館
テーマ 未定

(2) 部門別研修会

ア 自然科学部門	平成15年2月予定
企画担当	豊橋市自然史博物館 鳳来寺山自然科学博物館 でんきの科学館 名古屋市科学館
イ 歴史民俗部門	平成15年2月予定
企画担当	豊田市郷土資料館

ウ 美術部門 平成15年2月予定
企画担当 徳川美術館

- (3) 東海地区博物館連絡協議会
平成14年度総会への参加
期 日 平成14年7月4・5日
会 場 静岡県立美術館
- (4) 第27回東海三県博物館協会
交流研修会（当番愛知県）
期 日 平成14年10月24・25日
会 場 産業技術記念館
ノリタケの森クラフトセンター
- (5) 印刷物の編集・発行
・協会報「愛知の博物館」2回発行
編集担当 熱田神宮宝物館
でんきの科学館
・「おでかけガイド」2回発行
編集担当 津島児童科学館
豊橋市自然史博物館
- (6) 愛知県博物館協会
“子ども博物館”研究会
- (7) 「愛博協ホームページ」
企画担当 名古屋市科学館

2 会 議

- (1) 総 会 (平成14年6月20日)
(2) 理 事 会 (平成14年6月20日)
(3) 実行委員会 (随 時)

3 平成14年度加盟等

新加盟 ノリタケの森クラフトセンター
ウールの工房博物館テキスタイル館
三河武士のやかた家康館
岡崎市郷土館

以上4館

4 平成14年度予算(案)

事業計画案に基づく予算案を事務局より提示、承認された。

※総会終了後恒例の講演会を実施、今年度はノンフィクション作家でEXPO2005愛知県館プロデューサー山根一真氏をお迎えして『ミュージアムを輝かしい智の砦にする道』というテーマでご講演をいただきました。

本年は当会規約による役員の改選期にあたり、役員、実行委員、事務局が次のとおり交替致しました。今後共、会員各位のご協力の程、よろしくお願い致します。

愛知県博物館協会役員名簿

(平成14・15年度)

役職名	館（園）名	代表者名	備考
理事	愛知県美術館	館長 長谷川三郎	会長
〃	でんきの科学館	館長 宮地清美	副会長
〃	愛知県陶磁資料館	館長 戸塚理人	
〃	熱田神宮宝物館	館長 二橋一彦	
〃	一宮市博物館	館長 馬場康雄	H14.4.1交替
〃	大府市歴史民俗資料館	館長 沓名勝	H14.4.1交替
〃	岡崎市美術博物館	館長 芳賀徹	
〃	津島児童科学館	館長 佐藤吉泰	H14.4.1交替
〃	徳川美術館	館長 徳川義宣	
〃	豊田市郷土資料館	館長 畔柳寿文	
〃	トヨタ博物館	館長 山本厚夫	
〃	豊橋市自然史博物館	館長 糸魚川淳二	H14.4.1交替
〃	名古屋市博物館	館長 竹内正	
〃	博物館明治村	館長 飯田喜四郎	
〃	鳳来寺山自然科学博物館	館長 横山良哲	
監事	昭和美術館	館長 柳澤幸輝	
〃	名古屋市科学館	館長 樋口敬二	

愛知県博物館協会実行委員名簿

(平成14・15年度)

館（園）名	委員氏名	備考
愛知県美術館	深山孝彰	(会長館)
でんきの科学館	喜田幸男	(副会長館)
愛知県陶磁資料館	佐藤一信	(理事館)
熱田神宮宝物館	佐竹俊郎	(〃)
一宮市博物館	久保禎子	(〃)
大府市歴史民俗資料館	小島美智子	(〃)
岡崎市美術博物館	浦野加穂子	(〃)
津島児童科学館	吉田富子	(〃)
徳川美術館	小池富雄	(〃)
豊田市郷土資料館	天野博之	(〃)
トヨタ博物館	鈴木忠道	(〃)
豊橋市自然史博物館	藤原直子	(〃)
名古屋市博物館	田中青樹	(〃)
博物館明治村	中野裕子	(〃)
鳳来寺山自然科学博物館	加藤貞亨	(〃)
昭和美術館	普天間公美	(監事館)
名古屋市科学館	佐伯平二	(〃)

愛知県博物館協会事務局

事務局長	木本文平	愛知県美術館 企画普及課長
事務局	奥村正	業務課課長補佐
〃	足立理恵	業務課主事

平成14年度 東海地区博物館連絡協議会 理事会及び総会の報告

愛知県美術館 企画普及課長 木本 文平

平成14年7月4日(木)から5日(金)にかけて静岡で開催された東海博の理事会と総会に、愛知県博物館協会の会長(愛知県美術館長)代理として出席いたしました。私自身、恒例となっている同協議会への参加は15年ぶりとなるもので、ある種の懐かしさもありました。ただ以前と大きく違うことは、一介の参加者から愛博協の会長代理という役職参加となったことでした。とくに、来年度は同協議会の開催地が愛知県ということで、開催に伴うノウハウを知っておくという役目もありました。

さて、前置きはこのくらいにして理事会、総会の参加報告をさせていただきます。理事会は、7月4日の午前11時30分に当初予定されていた会場の静岡県美術館会議室から、静岡県埋蔵文化財研究所へ会場が変更され午後0時30分まで開催されました。出席者は、愛知県から私をはじめ徳川美術館の山本副館長(館長代)、名古屋市科学館の佐伯学芸係長(館長代理)の3名が理事館として、また、愛知県陶磁資料館の戸塚館長が監事館として参加しました。以下各県の代表は、山梨県博物館協会の山梨県立考古博物館・望月副館長、甲斐黄金村湯之奥金山博物館・谷口館長。神奈川県博物館協会は県立博物館・伊佐副館長と川崎市立日本民家園・村田館長。岐阜県博物館協会は県博物館・高橋館長と内藤記念くすり博物館・青木顧問。静岡県博物館協会は県立美術館・吉岡館長と東海大学海洋科学博物館・久保田館長、浜松市美術館・袴田館長となりました。この他、日本博物館協会から五十嵐専務理事も同席されました。

議事内容は例年のとおりなので、ごく簡単に報告いたしますと、平成14年度東海地区博物館協会の理事及び監事の人選、前年度の事業報告と決算報告、今年度の事業計画と予算案、今年度の表彰候補者(川崎市夢見ヶ崎動物公園・前館長岩本保則氏)についての事前審議などでした。ただ、愛知県博物館協会にとっては、はなはだ重要な案件がありました。それは、来年度がこの東海地区博物館連絡協議会開催の当番県に当たっていることでした。個人的な判断としては、お断り申し上げたいが、理事会の席上で「この手の連絡協議会はどう無しとしましょう」なんて木本が発言したらとんでもない状況になってしまうので、理事会で発言指名された際には、心とは裏腹に「わかりました。

恒例に従いまして、来年度の開催を引き受けさせていただきます。皆様の来県をお待ち申しあげます」なんて発言になってしまいました。という訳で、来年度は愛知県が開催当番なので加盟館の皆様は覚悟を決めておいて下さい。

総会は参加59館、92名の出席で、静岡県美術館の講堂にて定刻の午後1時30分から開始され、理事会での審議案件が全て承認されました。午後2時30分からは、これも恒例となっている記念講演会が開催され、静岡市立商業高等学校長の中村羊一郎氏が講師として「東アジアの茶文化」と題する講義がありました。その後、静岡県立美術館で開催中の企画展「大本山相國寺・金閣・銀閣秘法展」を見学。午後5時30分から会場をホテルセンチュリー静岡に移し、懇親会がもたれました。開催県を代表し、静岡県立美術館長・吉岡健二郎氏の挨拶に続き、不肖・木本が次回開催県を代表して乾杯の音頭を取らせていただきました。吉岡先生も日博協代表の五十嵐専務理事も、場所ゆえにと考えられますが、こうした懇親会の重要性を口にされました。しかし、昨今の状況から、懇親会費の経費は出席者のほとんどが自己負担であったと考えられますが、私なんか会長代理で出たために自己負担となりました。

翌日は、静岡県下の博物館活動の現場調査ということで、芹沢 銑介美術館、フェルケール博物館、久能山東照宮博物館を視察し、今後の博物館活動の参考といたしました。とくに芹沢美術館は、私自身が同館の開館数年後に訪れており、思い出深い美術館でした。開館して23年となるこの美術館は、周辺の環境と柔らかく優雅に調和し、そして、ゆるやかな成熟感をみせる建築物そのものの、この建物を設計した白井晟一の力量をあらためて認識させられました。

最後に、私自身15年ぶりの参加となった東海博の総会でしたが、運営実態としてはほとんど変わらない現実在即し、はたしてこのままで良いのであろうかという思いと、いやいや変わらないということとは貴重なことであろうという思いが交差し、複雑な心境に陥ってしまったことを報告しておきます。とにかく、来年は愛知県が当番県です。総会を従来どおりの形式で行うか、あるいは形式変更を考えるのか、実行委員会を含めて愛博協全体で考えていただきたいと思います。

新規加盟館の紹介

ノリタケの森クラフトセンター

〒451-8501 名古屋市西区則武新町3-1-36



クラフトセンターは、1904年創立以来約1世紀、ノリタケの技術と経験が結晶した最高級磁器を創りだすアトリエです。土と炎と磨き抜かれた技が織りなす感動的なドラマをご堪能ください。1・2Fでは生地成形や画付けなど技術の粋を、3・4Fでは美術的価値の高い初期の作品「オールドノリタケ」を展示しています。

▶ご利用案内◀

〈開館時間〉午前10時～午後5時（入館は午後4時まで）

〈休館日〉毎週月曜日（祝日の場合は翌日）
年末年始、夏期休業あり

〈入館料〉大人、学生／500円 高校生／300円
中学生以下／無料 障害のある方／無料
65才以上の方／無料 団体割引有り
TEL (052)561-7114

■アクセス



テキスタイル館

〒491-0931 一宮市大和町馬引字荒木15

機織り体験や毛織物の基礎知識が学べる“ものづくり体験型”の博物館。繊維の基礎知識を体系的に理解できる施設。紡績、刺繍機、編機、手織機、モール機、組みひも、民族衣装、染色整理、羊の各コーナーに分かれています。紡績コーナーなどには最新鋭機から歴史的な価値を持つ機械まで、さまざまなマシンが集められており、繊維の産業博物館的な価値があります。



▶ご利用案内◀

〈開館時間〉午前9時～午後5時

〈休館日〉毎週火曜日、年末年始、お盆

〈入館料〉中学生以上

1,000円（説明付実演付）

200円（説明・実演なし）

TEL (0586)45-5121



三河武士のやかた家康館

〒444-0052 岡崎市康生町561・岡崎公園内



徳川300年の泰平の礎となった英傑徳川家康。その人間像と天下統一への苦難の道を家康とともに歩んだ三河武士たちの生きざまを文献、絵画、武具などの貴重な資料でご覧いただけます。また立体映像やコンピュータグラフィックによる最新システムによって、楽しみながら理解していただけるように構成しています。

▶ご利用案内◀

〈開館時間〉午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)
〈休館日〉年末年始
(12月29日～1月1日)
〈入館料〉大人350円(中学生以上)
小人200円(5歳以上)
(但し30名以上は団体料金)
TEL(0564)24-2204

■アクセス



岡崎市郷土館

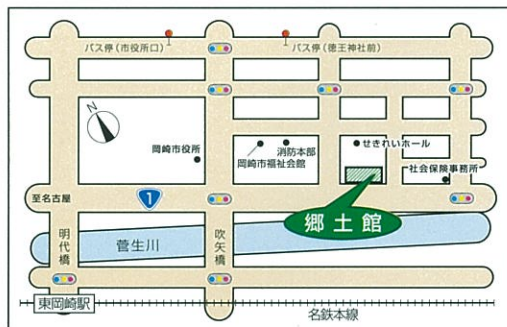
〒444-0022 岡崎市朝日町3-36-1

岡崎市および周辺地域の民俗・歴史・考古資料の収集・調査・研究を目的として、昭和44年に開館しました。「郷土の歴史」をテーマにした常設展示と、年数回の企画展示をおこなっています。また、館建物は、大正2年に建てられた旧額田郡公会堂および物産陳列所を活用したもので、平成11年12月にこの建造物が重要文化財に指定されました。



▶ご利用案内◀

〈開館時間〉午前9時～午後5時
〈休館日〉毎週月曜日(休日の場合は翌日)
祝日の翌日(休日は除く)
12月29日～1月3日
〈入館料〉無料
TEL(0564)23-1039



「愛知の博物館」No.76

発行日 平成14年8月31日
編集・発行 愛知県博物館協会
〒461-8525
名古屋市中区東桜1-13-2
愛知県美術館内
TEL<052>971-5511
FAX<052>971-5617